

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【公開番号】特開2002-368948(P2002-368948A)

【公開日】平成14年12月20日(2002.12.20)

【出願番号】特願2002-128446(P2002-128446)

【国際特許分類第7版】

H 04 N 1/028

H 01 L 27/148

【F I】

H 04 N 1/028 C

H 01 L 27/14 B

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月18日(2005.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数組の光センサライン(100,102),(104,106),(108,110)を備えた光センサアセンブリであって、該各組が少なくとも第1のライン及び第2のラインを含み、該第1のライン及び第2のラインにおける光センサがほぼ同じピッチを有し、前記第1のラインにおける光センサが前記第2のラインにおける光センサに対して前記ピッチの約1/2だけオフセットされており、前記第1のラインにより受光される光のスペクトル幅が前記第2のラインにより受光される光のスペクトル幅とは異なる、光センサアセンブリ。

【請求項2】

N本の光センサラインをさらに備え、該Nが少なくとも6であり、該N本のラインのうちの1本における各光センサが他のN-1本のラインにおける光センサとは異なるスペクトル幅の光を受光する、請求項1に記載の光センサアセンブリ。

【請求項3】

複数組の光センサライン(100,102),(104,106),(108,110)を備えた光センサアセンブリであって、該各組が少なくとも第1のライン及び第2のラインを含み、該第1のライン及び第2のラインにおける光センサがほぼ同じ光センサ幅を有し、前記第1のラインにおける光センサが前記第2のラインにおける光センサに対して前記光センサ幅の約1/2だけオフセットされており、前記第1のラインにより受光される光のスペクトル幅が前記第2のラインにより受光される光のスペクトル幅とは異なる、光センサアセンブリ。

【請求項4】

N本の光センサラインを更に備え、該Nが少なくとも6であり、前記N本のラインのうちの1本における各光センサが他のN-1本のラインにおける光センサとは異なるスペクトル幅の光を受光する、請求項3に記載の光センサアセンブリ。

【請求項5】

第1のサイズを有するN本の第1の光センサライン(200,202,204),(410,414,430,434,450,454)と、

第2のサイズを有するM本の第2の光センサライン(206,208,210),(402,422,442)とを備えたフォトセンサアセンブリであって、

前記M及びNが双方とも1よりも大きく、

前記第 2 のサイズが前記第 1 のサイズとは異なり、

前記光センサラインの各々において本質的に全ての光センサが同じスペクトル幅の光を受光し、

少なくとも $M + N$ 個の異なるスペクトル幅の光を受光する、

光センサアセンブリ。

【請求項 6】

N 本の光センサラインで一領域を走査し、該 N が偶数かつ少なくとも 6 であり、前記光センサラインの各々が、該光センサのピッチのほぼ 1 / 2 だけ空間的にオフセットされた対応する光センサラインを 1 本ずつ有し、前記光センサラインの各々が異なるスペクトル幅の光を受光する、

という各ステップを含む、走査方法。

【請求項 7】

N 個の光センサで一領域を走査し、該 N が偶数かつ少なくとも 6 であり、該光センサの幾つかが第 1 のサイズを有しており、残りの光センサが第 2 のサイズを有しており、該第 1 及び第 2 のサイズが互いに異なり、前記光センサの各々が互いに異なるスペクトル幅の光を受光し、

前記光センサの各々から M ビットの強度データを取得し、

該強度データを組み合わせて前記領域についての $M \times N$ ビットの強度データを取得する、

という各ステップを含む、走査方法。

【請求項 8】

変換マトリクスを使用して前記 $M \times N$ ビットの強度データを $M \times N / 2$ ビットの強度データに縮小するステップを更に含む、請求項 7 に記載の方法。